

# 親子で極めよう 公園遊び

保土ヶ谷区のおでかけマップ

## 最終版は32施設



「おでかけマップ」を紹介する山田さん  
＝保土ヶ谷区

発行したのは、保土ヶ谷区地域子育て支援拠点「こっころ」。

子どもが外でのびのび遊べるように、区内の子育て中の母親

## 草花や昆虫…母の目線で紹介

横浜市保土ヶ谷区内の子育てスポットを満載した「ほどがやおでかけマップ」の、最終版が完成した。取り上げた公園数が2011年度版より増えるなど内容が充実。無料配布されている。

(坂川 崇)

消防署員やボランティアから指導を受ける児童たち



＝磯子区

(AED)の使い方を学んだ。心臓マッサージ初挑戦の5年生の中司壘くん(11)は「見ていると簡単そうだったけど、やってみると力が必要で難しかった。倒れている人がいれば助けたい」

JXは同大会で最多となる9度の優勝回数を誇る名門。だが、JX日鉱日石エネルギーに統合後の過去2大会の本大会では未勝利とあって、木村康会長は「必ずや1勝を」と注文し、そ

ら「さんぽ隊」を結成、10年度から母親目線のガイドブック作りを手掛けてきた。公園の掲載数は、初版の8から、第2版が24、最終版が32と増加。「クローバーの山」「おもちゃ文庫」といった子どもの興味を引く公園の特長のほか、草花や昆虫などのイラストを用いて、公園遊びの楽しさも紹介している。

公園情報を取りまとめた「さんぽ隊」メンバーは「初めての公園に行くことで、親子ともに交友範囲が広がった」とのメッセージを寄せている。

編集とデザインを担当した販売促進企画会社「笑う門」(保土ヶ谷区)の山田浩和さん(40)は「公園遊びの楽しさを知ってもらおうとともに、地域全体が子育てに参加するような街づくりの手助けとなれば」と話している。

A5判フルカラーで42ページ。5千部発行。相鉄線星川駅前の「こっころ」で無料配布している。問い合わせは、「こっころ」電話045(340)0013。

## 市民の広場

(横浜市政策局報道担当 水・土曜日掲載)

### 脳血管医療センターの講演会

今日から始める脳卒中予防

脳卒中の最新治療と日常生活でできる予防について、横浜市立脳血管医療センターの医師と看護師が分かりやすく講演します。一時保育(原則6カ月以上4歳以下)、手話通訳あり。

【日時】7月27日(金) 午後1時半～4時＝開場 午後0時半

しょう～高血圧予防が最大のポイント～」▽講師＝下村晃子(慢性疾患看護専門看護師)、鶴見区の取り組みについて

【参加方法】申し込み不要、直接会場へ(多数の場合は先着順)手話通訳、一時保育を希望の方は7月17日(火)までに脳血管医療センターへ電

応援団のエネルギーを受ける JX-ENEOSナイン 11月2日夜、東京都内の同 社本社



(名古屋市)と対戦する。(岡部 伸康)

くりを繰り返す。件を確認、被害総額は万円相当に上るといって追送検容疑は3月1日午後8時20分ごろ、同市新橋町の市道で、徒歩宅中の女性会社員(26)方からミニバイクで1万円など(在中)をひったくりをしたと目撃された。50件くひったくりをする際は